

平成28年度予算見積調書

課室名：生産振興課
 担当名：花き・果樹・特産・水産担当
 内線：4151 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B64	水産研究所試験研究費			一般会計	農林水産業費	蚕糸特産及び	水産研究費	水産研究所費		
事業期間	平成12年度～	根拠法令	内水面振興法				戦略項目	08	埼玉農業の競争力強化	
							分野施策	030201	収益力ある農業の確立	
1 事業の概要 観賞魚の品質向上や食用魚の安定生産及び魚影豊かな川を創出するための試験研究を実施する。 (1) 環境変化に対応した栽培管理技術の開発 0千円 (2) 県オリジナル新品種の育成・普及 2,391千円 (3) 大規模低コスト・高収益な生産技術 0千円 (4) 生産効率、付加価値の高い農産物生産技術 0千円 (5) 地域に根ざした生産技術の研究・指導 7,699千円 (6) 調査研究 4,168千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 環境変化に対応し安定生産が可能となる栽培管理技術の開発 0千円 イ 県オリジナル品種(埼玉ブランド)となる新品種の育成・普及 2,391千円 ウ 大規模低コスト・高収益な生産技術 0千円 エ 生産効率が高く、付加価値の高い農産物生産技術の開発 0千円 オ 地域に根ざした生産技術の研究・指導の推進 7,699千円 カ 調査研究 4,168千円 (2) 事業計画(目標、達成水準、今後の計画等) ア 環境変化に対応し安定生産が可能となる栽培管理技術の開発 0課題 イ 県オリジナル品種(埼玉ブランド)となる新品種の育成・普及 1課題(うち新規 0) ウ 大規模低コスト・高収益な生産技術 0課題 エ 生産効率が高く、付加価値の高い農産物生産技術の開発 0課題 オ 地域に根ざした生産技術の研究・指導の推進 7課題(うち新規 3) カ 調査研究 3課題(うち新規 1) (3) 事業効果 新品種、開発された新技術が普及されることにより、本県水産業の発展を支える。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 独立行政法人(水産総合研究センター等)、都道府県、大学、民間企業や養殖業者と共同して国庫資金等を活用して研究開発を実施する。また、水産業関係団体民間企業から委託を受け、問題解決のための試験研究を行う。						
2 事業主体及び負担区分 (団体10/10、県0) (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員人件費 9,500千円×12人=114,000千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との対比
		国庫支出金	財産収入	諸収入						
決定額	14,258	200	5,500	4,544				4,014	2,776	
前年額	11,482		5,250	2,000				4,232		